

松山・白石の鼻巨石群調査委員会

ニュースレター

愛媛県松山の篠崎邦彦さんより以下のようなニュースレターが送られてきました。
地元での巨石研究を活発に進められている様子が伝わってきます。

<h1>白石の鼻・ニュースレター</h1>	発行：松山・白石の鼻巨石群調査委員会
	No1：平成21年6月20日
	http://haku1414.web.fc2.com/

1.松山・白石の鼻巨石群調査委員会を設立！

4月5日に地元6丁目の宮総代で高浜公民館館長補佐の仲矢と研究員・藤澤の2名で白石の鼻の本格的な調査および地域活性化の活用方法などを検討するための調査委員会を設立しました。
5月には、役員を5名に増強し、情報発信力、実務能力をアップしました。

2.マスコミにも注目される市民運動！

・地域で活動するとういうインパクトは大きく、ユニークで精度の高い情報発信、活動は自治体、マスコミ、大学等を動かし始めました。

4/27 毎日新聞愛媛版

4/23 読売新聞愛媛版

5/27 あいテレビ
(ヒューマンあい)

※詳細は当調査委員会のホームページ、研究員ブログでご覧下さい。

3.松山市の「坂の上の雲フィールドミュージアム支援事業」に応募します。

・松山市が町興しや地域活性化に努力するNPOや市民団体を支援する事業に応募しています。具体的な事業活動としては白石の鼻巨石群の学術調査と地域活性化の検討、具体的なイベントとして季節の夕日の鑑賞会、先進地見学(足摺巨石群)や、9月に「縄文遺跡群と天体観測(仮称)」のテーマでシンポジウムの開催を計画しています。

4.教育委員会の方に現地視察に来ていただきました。

・6月9日、市教委と愛媛大学の先生に現地視察に来ていただき、当調査委員会が従来から主張している①古代の天体観測施設としての可能性と②中世、近世の石切下場としての文化財的価値の可能性を説明しました。
①については現在のところ肯定的な見解はいただいていませんが、②については、「貴重なものであると思われる」という感想をいただいています。今後、時代の特定やどの場所(松山城?橋脚?護岸?etc)で使われたのかなどの調査が進むと思われます。

～お目撃有難う！～
©松山・白石の鼻巨石群調査委員会

5.夏至頃の鑑賞ポイント

白石の鼻の夏至の観測ポイントは、鳥居の下やや右よりで、巨石群の配置と夕日の太陽光との運動性がよく判ります。太陽軌跡の変動は春分・秋分前後が一番大きく一日で約0.5度変化します。しかし、太陽の軌跡は夏至の北限に向って次第に変動差を小さくし夏至前後で最終的に0になり、折り返して南よりに太陽の軌跡を移動させていきます。白石の鼻の最近の日の入り時点の太陽の方位度は以下です。

6/6(土) 298.3度
 6/7(日) 298.5度
 6/20(土) 299.3度
 6/21(日:夏至)299.3度

2週間前で誤差は1度であり、ほとんど夏至の日と変わらなくなってきます。



Jkatabianukiさん6/7撮影



Jkatabianukiさん6/7撮影



kshinozawa 6/19撮影

「白石の鼻」の巨石群の主な構成



～お日様有難う！～
 ©松山・白石の鼻巨石群調査委員会